

# 長崎大学経済学部で

## 雇用・労働関係講義を実施

長崎労働局では、これから就職する大学生等を対象に、雇用環境や労働関係法令、労働局の施策等の知識の周知と啓発を図ることで、就職前、就職後に役立てていただくための講義を、平成24年度より実施しています。

令和元年5月22日（水）には、長崎大学経済学部講堂において、経済学部学生300名（2～4年生）に対して、金成労働局長が「長崎県における雇用情勢と課題」と題して講義を実施しました。

講義では、「長崎県の雇用失業情勢」、「大卒・高卒者の就職内定率と離職率」、「女性の就業状況」、「セクハラやいわゆるマタハラ等の相談状況」、「育児休業取得者の状況」、「男女雇用機会均等法や育児・介護休業法等に基づく指導状況」、「『いじめ・嫌がらせ』や『自己都合退職』に関するトラブルにかかるあっせん等の申請状況」、「困った時の相談先」、「就職に向けてのアドバイス」等の内容を説明しました。

講義の質問では、「長崎県の離職率が高いということについて、大企業の誘致が増えれば解消されるか」等、就職活動に関するものであり、関心の深さが感じられました。

今後も、県内大学と連携して、順次実施していきます。

